

令和6年度 第2回 米子市児童文化センター運営委員会 発言要旨

1 令和7年度事業概要について

(委員)

美術館で開催する「顕微鏡遺産」公式認定記念の展示会はどういった内容なのか。有料なのか。

(事務局)

内容は「電子顕微鏡のまち・米子市」推進協力会に携わっている写真家による顕微鏡アートや写真展、田中先生や菅田先生の功績や推進協力会が取り組んできたことなどを展示するコーナー等を予定している。入場料は無料。

(委員)

プレーパークでの野外炊飯が新規事業として計画されており興味深い事業であると感じると同時に手間がかかるのでは感じている。外部の方を呼ぶなど検討しているのか。

(事務局)

利用者からの料理に関する多数の要望を受けての新規事業である。具体的な連携などはまだ決まっていないが、ご協力があればありがたい。

(委員)

(野外炊飯が)9月実施とのことで気温やアレルギーなどにも注意して実施してほしい。

(委員)

ボランティア育成事業はいつ実施されるのか。早い時期に実施し、すぐに事業に携わってもらうことでやりがいを感じてもらえるのではないかな。

(事務局)

例年5月頃実施している。

(委員)

子どもの社会性や協調性などを養っていくために子育て支援事業は非常に重要だと感じている。この事業の充実度や参加者の状況を教えてほしい。

(事務局)

例えば子育ておしゃべり会は子育てに関することで親子同士交流する会で、月1回の実施に2、3組の利用がある。どの事業もその場でのコミュニケーションを大切にしている。

(委員)

学校や市の窓口だけでなく相談できる場があるのは大変よいことであると感じた。

(委員)

子どもの健全育成にのための事業を実施するには職員のスキルも求められる。最近の休日はお父さんと子どもの来館が増えているため、親子で一緒に体を動かせる事業を企画する等検討してほしい。

(委員)

市の施設ということもあり、気軽に来館したり職員に相談していいものなのかとためらいを感じることもある。よりフランクな声掛けや方言を交えてのコミュニケーションで地域とのつながりを大切にしてほしい。

2 令和6年度上期モニタリング結果について

(委員)

施設の管理において、第三者に行わせる業務は必要最低限か、という評価事項がある。予算があるのは承知の上で、必要なものは外部に行わせるべきであると考えてるが、実施状況を伺いたい。

(事務局)

センター職員による定期的な確認において発見した不具合は、可能なものは職員による対応を依頼している。対応できないものや判断がつかないものは、専門業者にも現地確認してもらっている。直近発生した雨漏りについては、職員では対応できないため専門業者に依頼し、今年度中に一部修繕予定である。

(委員)

状況理解した。プロの目で点検することでわかる不具合等もあるはず。必要最小限にとらわれず実施してほしい。

(委員)

少子化が進む中での来館者の増加には職員の努力を感じる。来館者が多くなる休日の開館日は人手が足りないことが想定できるので、ボランティア育成の必要性を感じた。

3 その他

(事務局)

次回運営委員会は令和7年7月頃を予定している。

以上。